

NEWS RELEASE

クレディセゾンとデジタルガレージ、「セゾン DMP」を構築 ～クレディセゾンが保有するデータを活用し、CRM等のマーケティング領域で協業～

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：林野 宏、以下：クレディセゾン）と株式会社デジタルガレージ（本社：東京都渋谷区、代表取締役グループCEO：林 郁、以下：DG）は、クレディセゾンが保有するデータを活用する「プライベートDMP（Data Management Platform）※」（以下セゾンDMP）を構築し、カード会員の属性データやカード利用データ、ネットサービスの利用データ等を統合管理したうえで、ネット会員向けに最適化された情報配信を行います。

クレディセゾンとDGは、これまで分散していたクレディセゾンの各種データをセゾンDMPに統合したうえで、機械学習等のデータ解析技術により行動データの相関性やカード会員の類似性を解析し、パーソナライズされた最適な情報配信を行います。

これによりクレディセゾンは、従来の画一的な情報配信ではなく、パーソナライズされた情報をタイムリーに配信することで需要を喚起する情報配信を実現し、1,200万人を超えるクレディセゾンのネット会員のより快適なショッピングのサポートを推進します。

「セゾンDMP」の導入により今後展開する施策は以下の通りです。

- (1) クレディセゾンが保有するマーケティングデータ（個人情報を含まない）の一元管理
- (2) 機械学習などのデータ解析技術を駆使したコンテンツ配信、CRM施策等のマーケティング手法の最適化
- (3) DG、クレディセゾン両社のリソースを活用したマーケティング手法・サービスの共同開発

今回DGは、DGとDGのグループ会社でデータサイエンス事業を手掛ける株式会社BI.Garage（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：林 郁）が共同開発したプライベートDMPサービス「BIG MINING Private」をクレディセゾン向けにカスタマイズして提供します。

DGは、今後も独自のデータベースと最先端のビジネスインテリジェンスを活用し、マーケティングの様々な領域の課題に対してデータを活用したソリューションを提供していくことで、データマーケティング事業の拡大と発展を推進していきます。

【セゾンDMP概要図】



※個人情報を含まないデータを連携

NEWS RELEASE

プライベートDMP「BIG MINING Private」の主な特徴

- ・DGグループが保有する、購買行動に極めて近い独自のオーディエンスデータを活用
- ・複雑に分散したデータを柔軟に収集し整形することで、マーケティングデータの一元管理を実現
- ・デジタルマーケティングに精通したデータアナリストが機械学習システムを活用して情報配信を最適化
- ・最新の分析技術を利用し、個々の企業ニーズに応じた様々な切り口でのデータ分析に柔軟に対応

「BIG MINING」とは

DGグループが提供する、独自のオーディエンスデータと分析環境を備えるDMPサービス。

DGグループが保有するオーディエンスデータや、様々なパートナーメディアより提供を受けたオーディエンスデータを用いた広告配信サービスを提供しています。

参照：<<https://www.bigmining.jp/>>

※ DMP：DMPとは、企業が持つ顧客データやマーケティングデータ、ネット上だけではなくリアル店舗などのオフラインのデータも含めた様々なデータを統合的に管理することにより、マーケティング活動全体を最適化するプラットフォームを指します。利用企業にとっての外部データの提供を目的とするオープンDMPに対して、プライベートDMPは利用企業の自社データと外部データを統合的に管理し、自社のマーケティング活動全般に活用することを目的としています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社デジタルガレージ マーケティングテクノロジーカンパニー

広報担当：安部

Tel：03-6367-1317

Mail: mtc-pr@garage.co.jp

株式会社クレディセゾン

広報室